

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和3年度技術情報第7号（飼料用作物のツマジロクサヨトウ）
について（送付）



飼料用トウモロコシほ場で、ツマジロクサヨトウの発生を確認しました。
今後の発生に注意し、適切な防除に努めてください。

令和3年度技術情報第7号

1 農作物名 飼料用トウモロコシ、ソルガム及びスイートコーン

2 病害虫名 ツマジロクサヨトウ

3 発生状況

- 3月に枕崎市のフェロモントラップで本年初めての誘殺が認められ、その後、継続して誘殺されている（表1）。
- 5月6～11日に南薩地域と大隅地域の飼料用トウモロコシほ場を調査した結果、枕崎市で老齢幼虫による食害が認められたが、寄生株率は5.0%以下と軽微であった（表2）。また、発生ほ場率も9.5%と低かった。
- しかし、今後、気温が高まり、本虫の発生に好適な条件となることから、下記の防除対策を参考に、防除適期を失することのないように注意する。

4 防除対策

- 幼苗期から生育初期に加害されると減収につながる恐れがあることから、ほ場をよく見回り、幼虫の早期発見に努める。
- 老齢幼虫は農薬の効果が低下するので、可能な限り若齢幼虫のうちに防除を行う。
- 農薬の使用にあたっては、散布は無風又は風が弱い時に行うなど近隣に影響が少ない天候や時間帯を選び、風向、防除器具のノズルの向き等にも十分注意するとともに、隣接農作物の栽培者に対して散布予定農薬の種類や散布時期等を事前に連絡するなど、農薬の飛散（ドリフト）に留意する。
- 発生生態や防除に関する情報が農水省ホームページに掲載されている。
(https://www.maff.go.jp/j/syoutan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)



6 参考データ

表1 ツマジロクサヨトウのフェロモントラップでの誘殺状況(5月6日現在)

市	トラップ 設置日	誘殺数(頭) / トラップ		
		3月	4月	5月
枕崎市	2/29	1	6	2
南さつま市	2/29	0	0	0

注1) トラップ調査は毎月5日、20日を目安に2回実施している。

表2 飼料用トウモロコシほ場でのツマジロクサヨトウ幼虫の発生状況

調査場所		調査月日	ほ場No. (発生ほ場率%)	寄生株率(%)	寄生虫数		
南 薩 地 域	枕崎市	園見西町	5月6日	1	5.0	2	
			2	2.5	1		
	大塚北町	5月6日	1	0	0		
			2	0	0		
	南さつま市	金峰町	5月11日	1	0	0	
	南九州市	川辺町	5月6日	1	0	0	
				2	0	0	
		知覧町	5月6日	1	0	0	
2				0	0		
大 隅 地 域	曾於市	大隅町	5月7日	1	0	0	
			2	0	0		
			3	0	0		
	旭原町	5月7日	1	0	0		
			2	0	0		
			3	0	0		
			川東町	5月7日	1	0	0
					2	0	0
					3	0	0
					4	0	0
	曾於郡	大崎町	5月7日	1	0	0	
				2	0	0	
計			21 (9.5)	—	3		

注1) 調査は1ほ場につき、40株を調査している。

注2) 徳之島と与論島でも飼料用作物で発生を確認している。